

超豪華メンバーが集結

松山競輪場開設74周年記念「金亀杯争覇戦」は、3月7日～10日の日程で開催される。今シリーズは古性優作、脇本雄太、新山響平、佐藤慎太郎、深谷知広のSS班5名が参戦。他にも犬伏湧也、北井佑季、嘉永泰斗ら超下級の自力型がおり、ビッグレースに見劣りしない素晴らしいメンバーによるV争い。ウィナーズカップを占う意味でも目が離せない4日間だ。

全日本選抜⑧①④着。3連覇の偉業は達成できなかった古性優作だが、二次予選で寺崎浩の快速まくりを差すと、準決は先行した松井宏の番手を郡司浩から奪い取ったの差し切り勝ち。ラインの先頭でも、番手戦でもまったく隙を見せず、輪界を代表するオールラウンダーの真骨頂を発揮している。いい状態を維持で

きているとなれば、豪華メンバーの今シリーズの中でも一番信頼できる存在とみた。タッグを組む脇本雄太は、全日本選抜では珍しく決勝を外している。準決は、赤板過ぎの2コーナーから仕掛けるいつも通りの競走で、猛抵抗する北井佑季をねじ伏せた。だが、後続の稲川翔が捌かれてしまい、北井に番手に入られる不利があり4着に沈んだ。ただ、年頭からの悪い流れは脱し、戦えるレベルにはあった。続く2月奈良記念の



古性優作

初日特選は、正攻法からスナリ駆けつけた新山響平の逃げを8番手まくりで仕留めている。その奈良記念は近畿の選手がそろって古性と連日別線が戦ったが、ここは両者で結束。豪快な仕掛けで優勝を手にする場面は十分だ。

新山、佐藤慎太郎の北日本SS班コンビが近畿勢の前に立ちかかる。昨年は2年連続でグランプリ出場を果たした新山は、スケールの大きな競走が売り。今年はまだ決勝では結果が出ていないが、1月平記念、全日本選抜はいずれも優等生、決勝は先行して調子に問題はない。連係実績の豊富な佐藤の援護も心強く、近畿勢に真っ向勝負を挑む。

南関勢も戦力は整っている。6年ぶりにSS班復帰を果たした深谷知広をはじめ、北井、和田真久留の神奈川コンビ、更に和田健太郎も控えている。昨年は1年間を通して安定した成績を残した深谷。今年も2月静岡記念①①①

2着、全日本選抜では初日特選を制すなど、快速を遺憾なく発揮している。北井も今年快調だ。1月当所、同月平塚、2月四日市でVをゲットし、全日本選抜では①①③着。G1で初の決勝を経験



新山響平

した。動ける選手がそろっているので、好連係を決めてレースを掌握なら、南関勢から優勝者が出て不思議ではない。

四国勢はスピードスター・犬伏湧也、地元Vに闘志を燃やす佐々木豪らに期待がかかる。昨年はG1で3回優等生を果たした犬伏。全日本選抜の二次予選では、

新山の逃げをまくりで仕留めていて、自力攻撃の破壊力には素晴らしいものがある。佐々木は2月高松記念の初日特選で犬伏と連係したばかり。犬伏が先行して絶好の展開が巡ってきたが、後続の松浦悠に交わされて2着。この大会はここ5年間で地元勢が3回も覇を握っている。犬伏が先行なら、今度はものにした。

全日本選抜では二次予選で敗退した嘉永泰斗ながら、3日目は先行して2着に粘ると、最終日はロングまくりを決めて勝ち星をゲット。仕掛けがツボにはまれば一発も。ベテラン荒井崇博は12月佐世保記念、同月西武園、1月高松と3連覇。全日本選抜の落車が影響なければ侮れない。



松山競輪開設74周年記念

金亀杯争覇戦 GIII

2024 3/7木 8金 9土 10日

松山競輪場 電話受付番号 75#
https://www.matsuyamakeirin.jp/
競輪は適量に楽しめましょう。競争の購入は20歳以上から。



脇本雄太

金亀杯争覇戦 出場予定選手

※2024年02月26日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点							
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	114.70	S1	稲毛健太	和歌山	97期	100.88	S2	佐竹和也	徳島	83期	89.62	S2	松尾透	福岡	96期	100.75	S2	吉川希望	石川	111期	92.32		
SS	脇本雄太	福井	94期	115.76	S1	武藤龍生	埼玉	98期	111.44	S2	大野悟郎	大分	83期	95.78	S2	吉田茂生	岐阜	98期	94.31	S2	田尾駿介	高知	111期	105.59		
SS	深谷知広	静岡	96期	117.48	S1	和田真久留	神奈川	99期	112.21	S2	石毛克幸	千葉	84期	102.94	S2	小玉拓真	岡山	98期	95.95	S2	吉田智哉	愛媛	111期	97.86		
SS	古性優作	大阪	100期	117.96	S1	岡田泰地	栃木	100期	101.07	S2	西岡正一	和歌山	84期	94.68	S2	東矢昇太	熊本	98期	92.40	S2	上田堯弥	熊本	113期	100.00		
SS	新山響平	青森	107期	113.86	S1	窓場千加頼	京都	100期	106.27	S2	大槻寛徳	宮城	85期	107.41	S2	橋本智昭	宮城	99期	101.44	S2	磯島成介	青森	115期	101.00		
S1	濱田浩司	愛媛	81期	101.76	S1	末木浩二	山梨	109期	104.84	S2	真崎新太郎	栃木	85期	97.84	S2	横関裕樹	岐阜	99期	101.70	S2	後藤悠	岩手	115期	97.24		
S1	荒井崇博	長崎	82期	115.50	S1	佐々木豪	愛媛	109期	110.67	S2	吉田勇人	埼玉	86期	98.88	S2	萱島大介	大分	99期	93.00	S2	外田心斗	愛媛	115期	98.41		
S1	渡部哲男	愛媛	84期	107.13	S1	瓜生崇智	熊本	109期	105.34	S2	上田裕和	三重	86期	97.42	S2	保科千春	宮城	100期	102.37	S2	櫻井祐太郎	宮城	117期	99.97		
S1	中川誠一郎	熊本	85期	105.79	S1	血屋豊	三重	111期	111.00	S2	高津晃治	岡山	87期	92.48	S2	大洞翔平	岐阜	100期	94.13	S2	梁島邦友	茨城	117期	93.97		
S1	和田健太郎	千葉	87期	114.00	S1	松本貴治	愛媛	111期	109.32	S2	松山桂輔	愛知	88期	94.61	S2	徳永哲人	熊本	100期	98.94	S2	太田龍希	埼玉	117期	101.83		
S1	園田匠	福岡	87期	110.14	S1	嘉永泰斗	熊本	113期	114.47	S2	高橋陽介	青森	89期	101.23	S2	伊代野貴照	奈良	101期	101.97	S2	林敬宏	愛知	117期	94.72		
S1	渡邊一成	福島	88期	105.00	S1	坂井洋	栃木	115期	112.82	S2	大塚玲	神奈川	89期	101.16	S2	元砂勇雪	奈良	103期	101.00	S2	仲野結音	大阪	117期	100.16		
S1	橋本強	愛媛	89期	107.41	S1	北井佑季	神奈川	119期	114.67	S2	伊藤大彦	徳島	89期	92.65	S2	坂本周作	青森	105期	102.07	S2	兼本将太	熊本	117期	102.71		
S1	芦澤大輔	茨城	90期	106.03	S1	犬伏湧也	徳島	119期	112.00	S2	池田勇人	埼玉	90期	101.74	S2	西田将士	長崎	105期	98.27	S2	木村皆斗	茨城	119期	99.63		
S1	山中貴雄	高知	90期	99.34	S2	紫原政文	福岡	61期	94.10	S2	伊原克彦	福井	91期	95.00	S2	鈴木竜士	東京	107期	110.00	S2	小池千啓	栃木	119期	93.50		
S1	山下渡	茨城	91期	98.43	S2	飯田辰哉	千葉	72期	97.63	S2	桑原亮	福岡	91期	95.38	S2	高橋泰裕	埼玉	107期	93.68	S2	渡口勝成	山口	119期	99.96		
S1	和田圭	宮城	92期	109.14	S2	松田治之	大阪	73期	101.00	S2	小谷実	京都	93期	95.73	S2	山本紳貴	千葉	107期	98.85	S2	近藤翔馬	愛媛	119期	96.14		
S1	小原太樹	神奈川	95期	108.75	S2	伏見俊昭	福島	75期	105.00	S2	藤田勝也	和歌山	94期	105.38	S2	滝本泰行	岡山	107期	93.58	S2	谷口力也	熊本	119期	96.04		
S1	坂口晃輔	三重	95期	106.95	S2	成田健児	神奈川	75期	98.58	S2	鹿内翔	青森	95期	97.68	S2	小林令	山梨	109期	100.95	S2	山口多聞	埼玉	121期	98.93		
S1	河端朋之	岡山	95期	106.43	S2	館泰守	愛知	80期	94.93	S2	長井優斗	東京	95期	92.59	S2	木村幸希	広島	109期	94.89	S2	真鍋智寛	愛媛	121期	96.61		
S1	岡崎智哉	大阪	96期	105.73	S2	吉永好宏	広島	80期	94.00	S2	山中秀将	千葉	95期	93.23	S2	山本拳也	高知	109期	95.86							
S1	山下一輝	山口	96期	103.37	S2	宮越孝治	富山	82期	100.29	S2	飯田憲司	静岡	96期	95.00	S2	望月一成	静岡	111期	94.10							

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



松本 貴治

(愛媛/111期)

全日本選抜では予選を①③着で準決にコマを進めたが、最終日に落車のアクシデント。体調には一抹の不安が残るものの、この大会は71周年を制した実績があり、上位進出が期待される。

渡部 哲男

(愛媛/84期)

地元の重鎮で、この大会は2Vを達成している。昨年12月には北津留翼の逃げを差して地元優勝を手にした。今年は一息不足の場所が続いているだけに、今シリーズは貫録を示したい。



河端 朋之 (岡山/95期)

全日本選抜では2日目に敗者戦ながらまくって1勝をあげていて、自慢のスピードは相変わらずだ。人気の有無にかかわらず、仕掛けがツボにはまった時の一発には注意したい。



坂口 晃輔 (三重/95期)

昨年はなかなか勝てなかった時期もあったが、直近4カ月の勝率は3割を上回っている。差し脚の切れが甦っているので、しっかりした目標があるレースは連の対象から外せない。



山口 多聞 (埼玉/121期)

今期は初のS級戦。最終ホーム、バックの先制回数が多く、積極的なレースで奮戦している。2月高松記念では、3日目は選抜戦ながら逃げ切った。今節も先行力を猛アピールか。

Rookie Champion Race



ラインの力で篠田幸希

3/10 (最終日) 9R

岡山コンビは、2月松戸で1・2班戦2V目を飾った青木瑞樹が怖い。松戸の決勝は古屋琢や室井連の反撃を合わせ切ったの逃げ切りと内容も良かった。山根慶太との前後は流動的でも有力なV候補だ。山根も1・2班戦で準Vが2回あり本領発揮なら侮れないか。
10月京王閣でのルーキーシリーズは単騎戦だった棚瀬義大が優勝していて、その再現も十分考えられる。地脚タイプで2月岐阜のVのように逃げての末の粘りも強靱だが、再び単騎戦なら加速抜群のまくりで一発を狙う。1・2班戦ですでに4Vの実力はダテではない。
在所2位の黒瀬浩太郎も黙っていない。怪我もあって意外と苦労したものの、2月奈良MNで1・2班戦初V。一丸尚を出さず逃げ切ったように123期きっての先行力を誇る。ここは岡山勢と別で単騎だとう組み立てるか。松崎広太や長松空吾も同様だ。

123期の頂点を決める一戦は、昨年の121期と同様にオーラA級2班選手によって争われる。前回はもうそうなっているように近い将来にS級で活躍する選手も確実に出て来るハイレベルな争いだ。勝つことに価値があるレースと言っても同県同士は組む可能性が高いし、ラインで競走した方がより有利に運べそう。そうならば、まずは篠田幸希、浮島知稀の群馬勢が目に行く。ともに前評判から高かった選手で、篠田はアマ時代に自転車競技で数々の実績を残し、在所成績も3位で卒業したエリート候補。直前の2月伊東では1・2班戦2V目を3連勝で飾って勢いに乗って臨んでくる。まくりのスピードには特に強烈なものがあるし、年下の浮島に前を任せれば勝機は膨らむ。適性出身で高いポテンシャルを誇る浮島も練習環境に恵まれ上昇一途。2月小松島、別府を連覇し、1・2班戦ですでに3回優勝している。出し切る競走を心掛けているのでここも前戦う可能性が高いのでは。上越連係で牧田悠生まで群馬コンビに加勢すればラインはさらに強固となる。



篠田 幸希 (群馬/123期)